



# こんにちは ひぐち英明

313号 2017年4月16日 連絡先：日本共産党左京地区委員会 Tel761-6341  
左京生活相談所 Tel781-6622

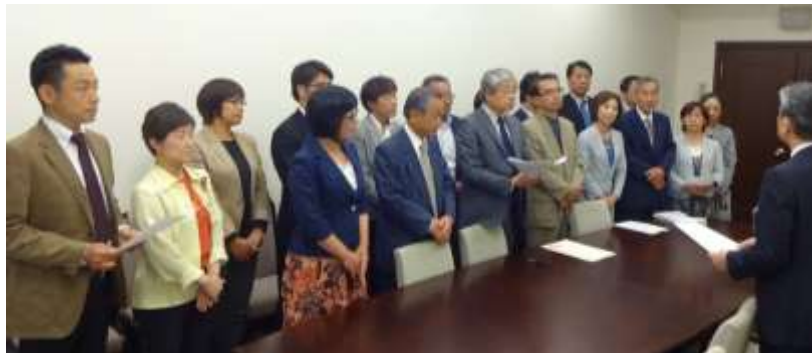
ホームページ：

## 国に対する意見書を提案 共謀罪法案撤回を



予算市会では、民進党と共同して、「いわゆる共謀罪法案の白紙撤回を求める意見書」(案)を提案しました。他党の賛同を得ることにはできませんでしたが、引き続き、議会の内外で、共謀罪法案の撤回を求めて力を尽くします。

「いわゆる共謀罪法案の白紙撤回を求める意見書」(案)を提案しました。他党の賛同を得ることにはできませんでしたが、引き続き、議会の内外で、共謀罪法案の撤回を求めて力を尽くします。



昨年5月には京都高速道路残り3路線の廃止方針の具体化を求める申し入れを共産党議員団として行う

2月予算市会の最終盤になって、突然議事に提案されたのが、京都高速道路の出資金113億円を、事実上放棄するという議案です。

## 車の通らない高速道路建設の反省もないまま 出資金113億円を放棄!

条通は、高速道路としてつくるのではなく、一般の生活道路として整備するべきと、共産党は当時から主張してきました。

### ■京都市はすでに716億円を支出

ところが、当時の市長と共産党以外の政党が高速道路としてつくりに、建設費が高騰。高速道路の建設費は料金収入で賄うというのが本来のルールですが、京都市はすでに高速道路2路線に市民の税金を716億円も注ぎ込んでいます。また、わが党がかねから指摘してきた通



### 「スピード落とせ」の標識設置

上高野大塚町の方から、「細い道を車がスピードを落とさず通過して危ない」と相談。土木事務所「スピード落とせ」の標識を設置していただきました。

## 写真トピックス



→ 共産党岩倉北後援会の日帰り温泉ツアーで大原山荘へ



← 左京子育てネットなどが主催するピースパレード&ピースコンサート

も放棄するというので、すから、一体市民の税金をどのように考えているのでしょうか。

### ■ムダな大型事業推進方針の撤回を

「財政難」などと言いながら、大型事業は推進し、そのつげは市民にしわ寄せ、では納得できません。さらに、京都高速道路の残り3路線の廃止方針を執行しないだけでなく、その一部である「堀川線」の事実上の復活と云うべき、堀川通地下バイパストンネル(五条、十条通)計画を打ち出すなど、さらなるムダな大型事業の推進計画は許せません。こうした方針を撤回させるために引き続き力を尽くします。

## ひぐち英明 ホッと・コム

長女(高校3年)が春休み中に少し長めの旅行に行ってきたのですが、出発前にひと騒動ありました。

旅行前日、持って行く荷物をすべてスーツケースに入れ終えた時のこと。そのスーツケースには、ダイヤルキーがついているのですが、その暗証番号を確認しないまま、ボタンと閉めてしまい、ダイヤルまでいじってしまったものですから、さあ大変。開けたくても開きません。色々と番号を試したり、暗証番号が書いてあった紙を探して、ごみ箱をひっくり返したりと、深夜まで大騒ぎ。何でそんなことになるのかと、長女と親で大げんかです。楽しい旅行の前にとんだハプニングでした。

さて、国連で核兵器禁止条約を検討する1回目の会議が3月下旬に開かれました。NGOの一員として日本共産党も参加したのですが、そこでうれしいハプニング。当初は予定になかったのですが、志位委員長が核廃絶に向けた演説を行う機会を得ることができたのです。

今回の検討会議は、被爆者や原水協をはじめとした核廃絶の運動が大きく広がる中で、国連に加盟する圧倒的多数の国が賛成したことを受けて開かれており、早ければ、7月にも核兵器禁止条約が成立するとも報道されています。

「核兵器の禁止が世界のルールになる」ということが現実味を帯びてきていることに、ワクワクしています。